

世界で一番働くものが大切にされる国

働く仲間の皆さん！

社民党は第 89 回メーデーを心からお祝い申し上げ、連帯と激励のメッセージを送ります。

「世界で一番企業が活躍しやすい国」づくりのための「働き方改革」関連法案が、国会に提出されています。過労死隠しや裁量労働のデータごまかしの追及を受け、裁量労働制の適用拡大は見送られました。しかし、一定の年収を条件に、労働時間、休日、深夜の割増賃金の規定等を適用除外する「高度プロフェSSIONAL制度」は盛り込まれ、「企業にとっての生産性向上」が前面に出ています。高プロ制度は、省令で一般の労働者にも適用を拡大していくことが懸念されます。断じて導入を許してはなりません。

残業時間の上限規制を罰則付きで法制化することは画期的ですが、上限年 720 時間以内という水準は不十分です。また自動車運転業務、建設業、医師の 3 業種は上限規制の適用除外が施行後 5 年間続き、自動車運転業務はその後も上限が年 960 時間以内にしかありません。教員の長時間労働や公務現場の働き方改革の課題も残っています。

労働時間は最も基本的な労働条件です。痛ましい過労死や過労自殺を繰り返してはなりません。非正規労働の待遇改善をはじめ、世界で一番、働く者が大切にされる国をめざしましょう。

「働き方改革」でサービス残業が起きる例



原因

- 業務量が以前と変わらず多いのに残業申請を認めない
- 対応を現場に丸投げし、改善策を示さない
- 人員配置の見直しやITの導入など業務効率化の対応がない

安倍政権は「戦争法」施行や「2020 年改憲」を狙っています。9 条への自衛隊明記は、米国に追随して日本を「戦争する国」にするものであり、許すわけにはいきません。

イラク派遣部隊の日報や南スーダン PKO 陸自部隊の日報隠蔽問題、とりわけ国会議員への自衛官の暴言など、文民統制(シビリアンコントロール)の危機を示しています。改憲など論外です。文民統制の機能しなくなった軍事組織が、いかに危険かは歴史が示しています。

さらに、加計学園の獣医学部新設をめぐる文書、森友学園の国有地取引をめぐる財務省の決裁文書改ざんなどは、民主政治を根幹から破壊する事態です。昭恵夫人や関係する政治家と安倍首相の責任を追及し、退陣に追い込まなければなりません。

戦後の平和と民主主義は、働く仲間の力で守られてきました。社民党は働く仲間の皆さんと手を携えて平和な暮らしを守るために闘います。求められるのは憲法を変えることではなく、憲法の理念や条文を政治・暮らしに活かすことです。

共に闘いましょう。

第 89 回メーデー万歳！

2018 年 4 月 28 日

社民党

社会民主党埼玉県連合
さいたま市浦和区高砂 3-37-5